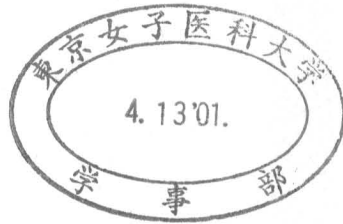


2001年度 Block. 3

課題 No. 2

「どうも疲れやすいG子さん」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート 1

Gさんは20歳の女子大生である。
最近、どうも疲れやすく、体重もこの2—3カ月間に3kg減少した。

「抽出を期待する事項」

疲れやすい。(易疲労感)

体重減少

シート2

動くとき動悸がするし、あまりにも疲れやすいので、内科を受診したところ、初診医に脈がはやく、手指に振戦があること、頸部を触診して甲状腺が腫大していること、さらに、甲状腺部に聴診器をあてて血管雑音が聞こえることを指摘された。さらに、血液検査や心電図検査の結果を見てから、診断や治療方針について話しましょうといわれた。

「抽出を期待する事項」

- 脈が速い（頻脈）、
- 手指の振戦
- 甲状腺が腫大→甲状腺腫、
- 血液検査
- 心電図

数日後、結果を聞きにいったところ、甲状腺ホルモンが血液中に多すぎるといわれた。また、甲状腺エコーの検査中、甲状腺の血流量が多いですねと検査医にいわれた。

「抽出を期待する事項」

甲状腺ホルモン

甲状腺ホルモン過剰症

甲状腺エコー

甲状腺の血流量

内科医は、検査データを診て、Gさんの病気はバセドウ病であること、抗甲状腺剤を内服していけば、ひとりでに治まってくる病気なのでそれほど心配する必要はないこと、ただし、少なくとも1～2年間は毎日、抗甲状腺剤を内服するようにといわれた。

また、抗甲状腺剤は副作用を起こすこともあるので注意するようにとの説明があり、処方箋と一緒に「抗甲状腺剤の注意書き」を手渡された。

「抽出を期待する事項」

バセドウ病

自己免疫疾患

抗甲状腺剤

幸いなことに、副作用は何も起こらず、2ヵ月後には甲状腺機能は正常となった。しかし、待合室でまっていると、隣に座っていた妊娠4ヵ月目の妊婦は、自分もバセドウ病のために薬を飲んでいるが、胎児に悪影響がないか、とても心配であるとのことであった。また、年輩の女性は、自分は20年前にバセドウ病で放射線治療を受けたけれども、最近、甲状腺ホルモンが足りなくなり、薬をもらいに通院しているとのことであった。また、その隣の患者は、目が飛び出しているようであった。

「抽出を期待する事項」

抗甲状腺剤の副作用

薬疹

眼球突出（バセドウ病の合併症）

妊婦のバセドウ病

抗甲状腺剤の胎児に及ぼす影響

131I 治療の後遺症